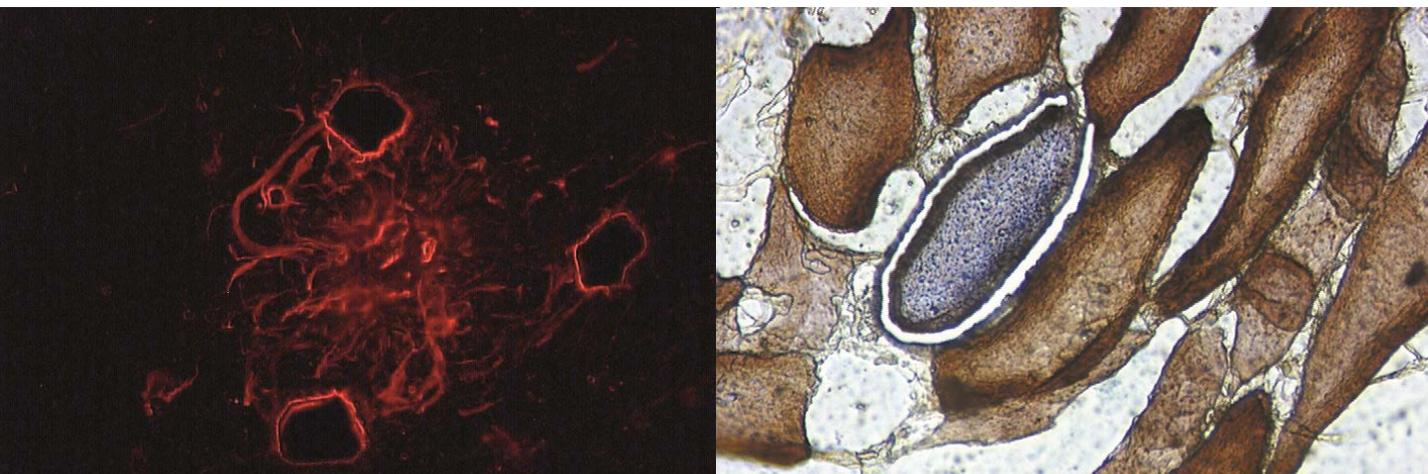


第11回 総合分析実験センターセミナー

ライカマイクロシステムズ(株)

レーザーマイクロダイゼクション技術セミナーのご案内



Leica レーザーマイクロダイゼクション LMD 7 — 狙った細胞、核心への近道 —

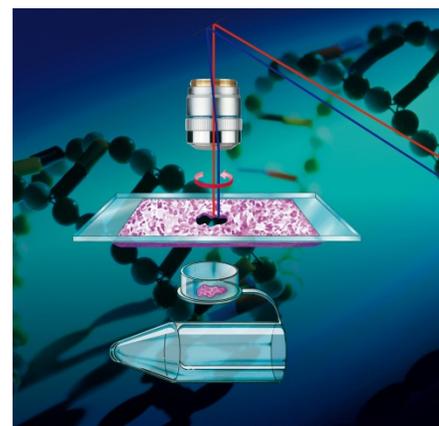
レーザーマイクロダイゼクション(LMD)とは、顕微鏡下で個々の細胞や組織を観察し、レーザーを用いて周囲から切り離すことで必要な部位のみを回収する装置です。コンタミの無いサンプルからDNA、RNA、タンパク質を抽出し、より精度の高い実験結果を得ることができます。LMD専用光学系を標準的に搭載しているライカレーザーマイクロダイゼクションは、レーザーが飛躍的に進化し、凍結切片やパラフィン切片はもちろん、骨などの硬組織、培養細胞、蛍光標本といった様々な標本から、単一細胞や細胞グループを迅速かつ高精度にコンタミネーションなく単離、回収することが可能となり、実験の幅が広がりました。

本セミナーでは、ライカレーザーマイクロダイゼクションの歴史や原理、実験応用例などをご紹介します。

日時：11月10日(火) 16:00 ~ 17:00

場所：院生研究棟2階2260室 セミナー室

演者：ライカマイクロシステムズ(株) 柴田



【お問合せ】

佐賀大学総合分析実験センター
機器分析部門 森 (2404/PHS3969)

Leica
MICROSYSTEMS